

オリ・パラ開幕まで残り500日を切った。観戦チケットの抽選申込み始まり、大会を成功に導く正念場を迎えつつある。今後相次ぐスポーツイベントや、あらゆるコンテンツを活用して県民全体への周知と機運を盛り上げたい。

東京オリ・パラ開幕まで500日を切り、5月9日より観戦チケットの抽選申込みが開始された。県内では、サーフィン競技会場の玄関口となるJR上総一ノ宮駅東口整備が着工したほか、JR千葉支社が競技終了時間に合わせた深夜増便や終電繰り下げを盛り込む臨時ダイヤの策定に動き出すなど、開催準備も本格化しつつある。

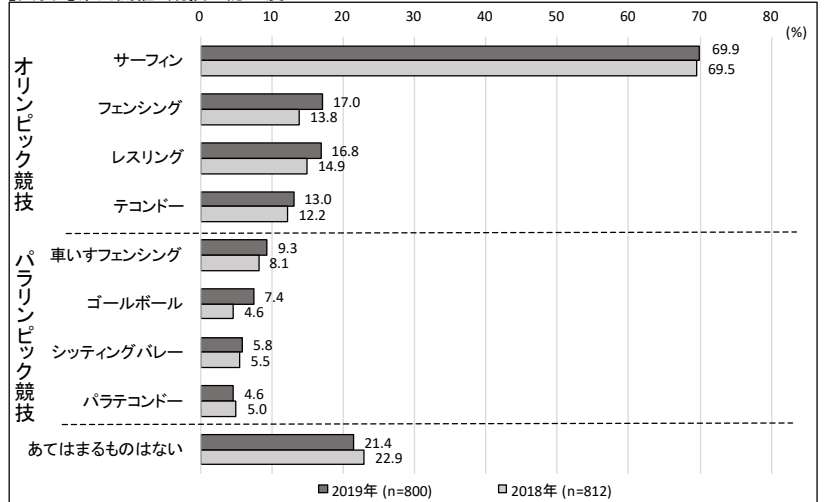
大会に向けた準備が着実に進行する一方で、500日前イベント後の3月下旬に当社が実施した県民意識調査では、県内開催競技に関する認知度の低さや、パラ競技への意識の低さが目立つ。

県内開催競技8競技の認知度(図表1)は、「サーフィン」(69.9%)で7割にのぼる一方、「フェンシング」、「レスリング」、「テコンドー」は1割台に止まり、パラ競技は、全て1割を下回った。前年調査(18年8月実施)との比較でも、認知度の大きな差は改善されなかった。

県内開催競技について(図表2)「観戦したい(ぜひ観戦したい+できれば観戦したい)」と回答した割合は、オリンピック競技が約4割(9.0%+29.5%)で前回調査比若干上昇したが、パラリンピック競技は約3割(5.4%+22.5%)と若干低下した。

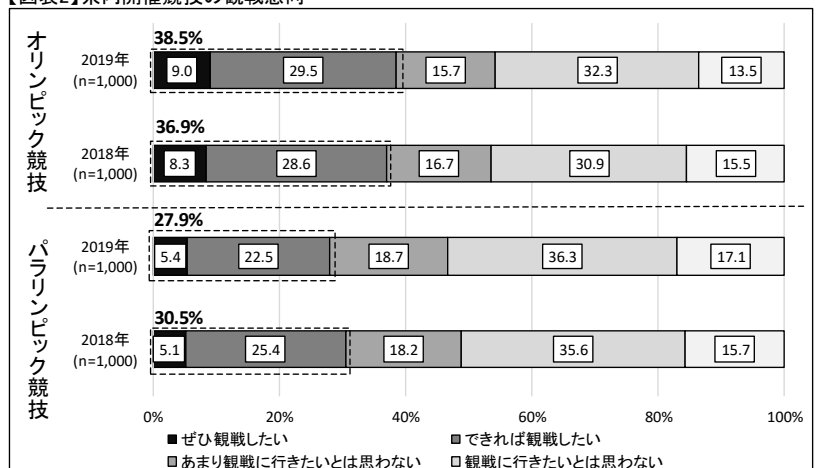
当社公表のレポートでは、オリ・パラの成功及び大会終了後のレガシー創出に向けて、①「官民ともに温度差がみられる東京オリ・パラへの意識や関心の高揚」、②「ハード面の整備」、③「ソフト面の整備と地方創生・地方活性化に向けたレガシー創出」に取り組む必要があると提言している(18年11月公表「東京オリ・パラに向けた準備状況」)。今夏には、オリ・パラ開幕まで1年を迎え、本大会に向けて運営リハーサルを行うテストイベントが相次ぐ。スポーツイベントを盛り上げるため千葉県が新たに作成した「スポーツ応援ロゴマーク」(はかま姿にはちまきを巻いたチーバくん)や、駅構内・店頭デジタルサイネージを通じた大会の情報発信など、あらゆる機会・コンテンツを活用して機運醸成に向けた「オール千葉」での取り組みを一層加速し、オリ・パラムードを高めていきたい。(大塚)

【図表1】県内開催8競技の認知度



(出所) 株式会社ちばぎん総合研究所(図表2も同じ)

【図表2】県内開催競技の観戦意向



【図表3】19年以降の主な動き

日程	内容
5月9日	オリンピックチケット販売開始
7月18～21日	READY STEADY TOKYO-サーフィン<テストイベント>
7月24日	オリンピック1年前
8月25日	パラリンピック1年前
夏	パラリンピックチケット販売開始
夏	聖火リレーのルート概要を決定
9月27～28日	READY STEADY TOKYO-テコンドー<テストイベント>
9月28～29日	2019ジャパンパラゴールボール競技大会<テストイベント>
10月3～5日	READY STEADY TOKYO-レスリング<テストイベント>
11月末	新国立競技場完成
12月13～15日	高円宮杯フェンシングワールドカップ<テストイベント>
20年 3月26日	オリンピック聖火リレースタート(千葉県は7月2～4日)
20年 7月24日	オリンピック開会式

(出所) 各種資料よりちばぎん総合研究所作成